

# 第15回 大和高田市 口腔ケア研修会(医科歯科連携)開催報告



- 日 時: 令和5年3月16日(木) 17時30分～19時00分
- 場 所: 放射線治療棟 3F 大会議室
- 参加者数: 院外)合計 21名: 歯科医師 20名、歯科衛生士 1名  
院内)合計 24名: 医師 2名、看護師 18名、管理栄養士 4名  
Web)合計 8名
- 講 師: 大和高田市立病院との連携について(訪問診療、周術期口腔管理) やまもと歯科 山本伸介先生  
大和高田市立病院の歯科連携の現状 地域医療連携センター  
体重減少を防ぐ食事の選択～当院の場合～ 栄養管理科 管理栄養士  
病棟看護師の口腔ケアの認識および実状 摂食・嚥下障害看護認定看護師

17時よりやまもと歯科 山本伸介先生から歯科医師と歯科衛生士に向けて『大和高田市立病院との連携について(訪問診療、周術期口腔管理)』の講演後、当院から3題の発表を行いました。

1題目は地域医療連携センターより周術期口腔機能管理の紹介状況や当院への訪問診療、また2016年4月より行っている歯科ラウンドについて発表しました。2題目は栄養管理科より当院の病院食の分類や食事形態について紹介されました。体重減少を防ぐために摂取状況に応じて補助食品を追加したり、栄養サマリーや食事形態一覧表を活用したりすることで転入時の食事の検討や転院時の食事形態の継続をスムーズにし、個々の患者に応じた適切な食事を提供することが可能となります。そして、当院では大和高田市周辺の医療機関や福祉施設と食事形態一覧表を共有しています。今後はさらに県内の病院や施設において共通認識が持てるように連携を進め、不適切な食事提供による体重減少を減らしていきたいと今後の展望を示されました。3題目は摂食・嚥下障害看護認定看護師より入院患者の口腔ケアに対する病棟看護師の意識、関心、実施状況および実施にあたっての問題点をアンケート調査した結果をふまえ、今後の課題として①基本的な口腔ケアの方法の統一化、②OHATの普及、③歯科ラウンドの普及および活用、④口腔ケア物品の定数化をあげられました。最後に雪印ビーンスターク(株)より、当院の売店で取り扱いをしている口腔ケア用ジェル リフレケアの商品説明をしていただき、研修会を終了しました。

アンケート結果から『地域との連携を強く感じた』、『食事形態やメニューの説明が分かりやすかった』、『院内看護の口腔ケア方法についてよくわかった』、『口腔ケアが重要視されていることで、こちらも頑張らねばと再確認しました』などの意見をいただきました。雪印ビーンスターク(株)では、口腔ケアに関するWEBセミナーを定期的で開催されています。ご興味のある方は是非、御参加ください。



皆さま、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました